

世界連邦宣言

いまひとつの世界を

自治体協新聞

発行 自治体協
世界連邦宣言協議会
(事務局=綾部市)
〒623-8501綾部市若竹町8-1
TEL(0773)42-3280
FAX(0773)42-4406

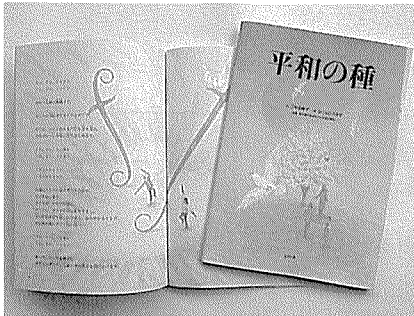
「平和の種」を中東へ

会長らパレスチナル訪問

本会の四方八洲男会長が来年1月、イスラエルとパレスチナを訪問します。本会が発行した中東和平の啓発絵本「平和の種」を直接、現地の小学生に届けると共に、要人に会い、和平の実現を呼び掛けます。

来日した子どもと再会

訪問団は、四方会長以下6人。10月中旬に本会加盟自治体に参加を呼び掛けたところ、



中東和平の願いを込めた絵本「平和の種」

京都府亀岡市から参加のお申し出がありました。同市からは、畠中一樹副市長が参加されます。

日程は1月19日から26日まで。現地では①中東和平プロジェクトで訪日した子どもたちと再会する②中東和平を願って作製した絵本「平和の種」を現地の小学生に手渡す③パレスチナを訪問し、中東和平プロジェクトへの協力確認を行う④イスラエル、パレスチナの要人と面談し、和平実現を訴える⑤大学など

を会場に講演会や懇談会を行うーを目的に、外務省やイスラエル大使館、パレスチナ代表部と最終調整を行っていきます。

参加する団員は、中東を訪問するに当たり、次の通り抱負を語っています。

【四方八洲男会長】遠く離れた日本でも、多くの人が中東情勢を心配しています。私たちの熱い思いを率直に伝え、世論を形成していきたいと思えます。私たちの訪問が、和平実現への一筋の光明となれば幸いです。

【畠中一樹・亀岡市副市長】

紛争の激化で中止となった昨夏の亀岡プロジェクト。スデロットとガザから来日する予定であった10人の青年に、中東の平和と友好交流を願う市民のメッセージをぜひ伝えたいと思います。

中東和平プロジェクトは本会の補助事業。補助額は500万円です。来年以降も取り組みますので、加盟自治体の事業実施をぜひご検討ください。今年には現地の子どもたちを招くことが困難なため、本会の役員が訪問します。

絵本1000冊を増刷

完売でバックオーダー

本会が発行した絵本「平和の種」が好評です。8月に2000冊を発行し、加盟自治体や関係団体などに紹介したところ、10月中旬に完売。現在、バックオーダー250冊を抱えています。このため急ぎ、

冊500円で、世界連邦運動団体には同1000円であっせんします。子ども向けの平和教育や、世界連邦思想の普及・啓発資料としてご活用ください。

1000冊を増刷することにしました。加盟自治体には引き続き1

絵本はA4判48ページ・カラー印刷で、英訳付き。京都府綾部市で、平成15年に実施された中東和平プロジェクト

が題材です。イスラエルとパレスチナの紛争遺児14人を招き、ホームステイなどの交流事業を進める中で、子どもたちに芽生えた友情を描いています。

同プロジェクトは全国に引き継がれ、平成16年に岡山市で、17年には徳島市で開催。昨年は亀岡市で計画されましたが、中東情勢の悪化で断念せざるを得ませんでした。同市でのプロジェクトが中止となった代わりに、この絵本を作りました。

絵本に関するお問い合わせや購入のお申し込みは、事務局へ。

四万十町が本会加盟へ

高知県四万十町が本年10月5日、世界連邦平和町宣言を行いました。本会事務局では早速、同町に本会への加盟を打診。平成20年度から加盟いただくことになりました。

同町の宣言までの経過などについては、次号以降でお知らせします。

情報をお寄せください

加盟自治体の活動を紹介

① 京都府綾部市

本紙では今後、啓発事業などの参考にしていただくため、加盟自治体の取り組み状況を順次、紹介していきます。各自治体の取り組み状況を、事務局まで積極的にお知らせください。本紙は、年に4回発行しています。初回は、京都府綾部市の取り組みを紹介します。

世界連邦基金を創設

綾部市は昭和25年10月14日、我が国初の世界連邦都市宣言を行いました。以後、平和を市是として、市民団体との協働でさまざまな取り組みを継続。機会あるごとにモニメントを設置しているほか、世界平和のための催しを継続しています。

平成3年には全国初の「世界連邦推進事業基金」を創設。市民1人当たり1000円を予算計上するとともに、市民の寄付などを積みため、啓発事業の実施や、関係団体の補助金などに充てています。

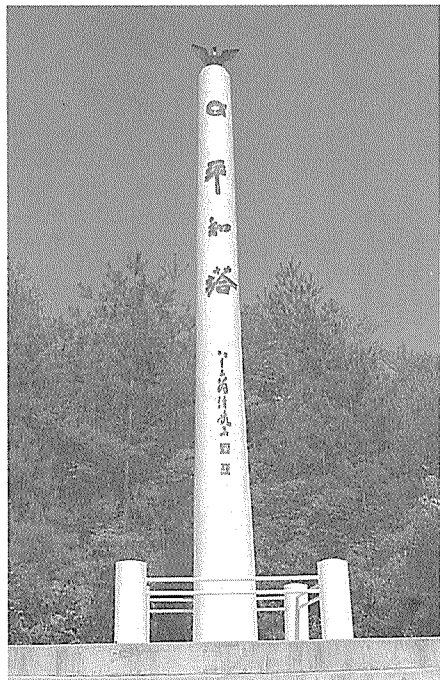
平成7年には宣言記念日の10月14日を「平和と環境の日」に制定。この日を中心に、平

和や環境保全に関する啓発事業を実施しています。

事業の推進母体は「地球市民の集い実行委員会（委員長 四方八洲男・綾部市長）」です。同実行委は、綾部世界連邦運動協会、綾部市民憲章推進協議会、綾部青年会議所、綾部市議会、綾部市の5団体で構成。①世界連邦推進小・中学生ポスター・作文コンクール②綾部市民平和祈願の集い（8月15日）③地球市民の集い（原則10月14日）を主な事業としています。

プロジェクトの先駆けに

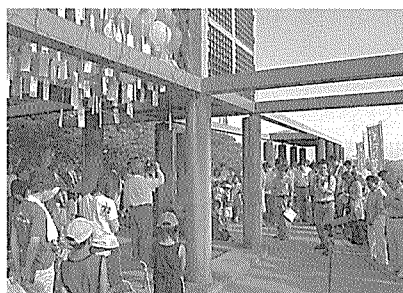
綾部市は平成15年、イスラエルとパレスチナの紛争遺児を招いて「中東和平プロジェクト」を開催。この事業は同



綾部市のシンボル「平和塔」。宣言を記念して昭和27年、都市公園に建立

市が先駆けとなりました。以後、岡山市、徳島市、亀岡市へと引き継がれています。

市民団体の綾部世界連邦運動協会も活発に活動を展開しています。毎年、世界連邦の



平和の鐘を打ち鳴らし、戦没者への黙とうをささげる「市民平和祈願の集い」（綾部市、藤山山頂）

市民学習会を開催しているほか、啓発冊子「世界連邦への道」をこのほど発刊。この冊子を利用して市民学習会を開いたほか、子どもたちへの平和学習も検討しています。



「地球市民の集い」では平和や環境に関する講演などを実施。本年度の講師は外務省参与、天江喜七郎氏。（10月13日）

1000円募金にご協力を

本会では、今年も「世界平和と難民救済のための自治体職員1人1000円募金」の活動を行いますので、ご協力をお願いいたします。

平成18年度に寄せられた募金は、総額約800万円。その中から国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と国連児童基金（UNICEF）に、それぞれ130万円を寄託しました。

また、平成16年度から本会の補助事業となっている中東和平プロジェクト。現地情勢が不安定なことから、今回は平和の絵本の発行と中東訪問になりました。

【訂正】本年度總會資料10頁の1000円募金集計表で、「東京都64,640円」「青梅市64,640円」の誤りでした。訂正し、おわびいたします。